

海外写真でたどる日本の近代捕鯨

北海道立北方民族博物館講座
2018-1-20 Sat.10:00-11:30

宇仁義和（東京農業大学）
unisan@m5.dion.ne.jp



上段：朝鮮半島沿岸でのロシア捕鯨会社の解剖船、同捕鯨船ギョルギー号と乗組員（後列左から3人目がメルソム）
中段：長崎の三菱造船所小菅修船場、メルソムの次女シグリ（写真の原所有者）、朝鮮半島東岸の金剛山と捕鯨船
下段：朝鮮半島南東部蔚山（うるさん）の長崎捕鯨合資会社長生浦捕鯨事業場（矢印は現在の鯨博物館の位置）

1900年前後にH.G.メルソム撮影（ベストフォル県公共博物館連合城山博物館蔵 Slotts fjellsmuseet / Vestfoldmuseene）

○本日の内容

1. 近代捕鯨の黎明期

誕生の地ノルウェー南部、近代捕鯨の極東への展開、日本への導入、東洋捕鯨株式会社

2. H.G. メルソムの極東捕鯨

ロシア太平洋漁業会社、長崎捕鯨合資会社、釜山と朝鮮の風景、長崎と福岡での滞在

3. R.C. アンドリュースの鯨類調査

日本への渡航、日本観光、鮎川と紀伊大島での鯨類調査、蔚山での鯨類調査、北朝鮮探検

ヘンリク・メルソム Henrik Govenius Melsom 1870-1944

ノルウェー人砲手。1894年から捕鯨砲を発明したスベン・フォインの捕鯨事業で働く。1890年代後半にロシア極東の捕鯨事業に従事し、日露戦争後は日本の長崎捕鯨や東洋捕鯨で活躍した。1912年にノルウェーに帰国してからは南極海捕鯨に参加したほか、いこと捕鯨船舶関係の会社を経営し捕鯨母船のスリップウェイを実用化し母船式捕鯨の道を開いた。

彼が撮影した写真は長崎生まれの次女のシグリ Sigrid Govenius Melsom 1903-2001が保管していた。この写真がノルウェー南部のベストフォル県テンスベルク Tønsbergにある城山博物館 Slottsfjellsmuseet に寄贈され、昨年になって1900年前後の朝鮮半島沿岸の捕鯨、長崎や福岡の写真が含まれていることが判明した。同県のアーカイブ Vestfoldarkivet のウェブサイトに解説と報告書が掲載されている。

<http://www.vestfoldarkivet.no/hjelp-fra-japan-gamle-fotografier-identifisert/>



1900年前後の朝鮮半島沿岸捕鯨に関する地名 (宇仁 2017b)



1912年蔚山にてR.C.アンドリュース撮影

【本日の参考文献】

- 宇仁義和. 2004. ノルウェーのクジラと捕鯨を巡る旅. 北方圏, 129: 12-15, 口絵. 北方圏センター. 札幌.
- 宇仁義和・当山昌直・岸本弘人. 2014. R.C.アンドリュースが1910年に撮影した那覇の写真. 沖縄史料編集紀要, 37: 69-84.
- 宇仁義和・ロバート=ブラウネル・櫻井敬人 (2014) ロイ・チャップマン・アンドリュースの日本と朝鮮での鯨類調査と1909-1910年の日本周辺での行程. 日本セトロロジー研究, 24: 33-61.
- 宇仁義和. 2015. ロイ・チャップマン・アンドリュースが撮影した1910年の土佐清水. 高知県立歴史民俗資料館研究紀要, 19: 1-17.
- 宇仁義和・加藤幸治編. 2017a. ロイ・チャップマン・アンドリュースの鯨類調査—鮎川1910年. 東北学院大学論集歴史と文化, 55: 43-179.
- 宇仁義和. 2017b. ノルウェーに保存されていた20世紀初頭の朝鮮半島沿岸の捕鯨の写真. 日本セトロロジー研究, 27: 9-16.
- 加藤幸治・宇仁義和監修. 2016. くじら探検記—よみがえる100年前の古写真帖—. 東北学院大学博物館. 仙台. 14pp.

ロイ・チャップマン・アンドリュース Roy Chapman Andrews 1884-1960



アメリカ自然史博物館の学芸員。1920年代に中央アジア探検隊を率いてゴビ砂漠（モンゴル）で恐竜の卵を発見したことで知られる。1909年にアルバトロス号のフィリピン・インドネシア調査に参加

1910（明治43）年 鮎川と紀伊大島で鯨類調査

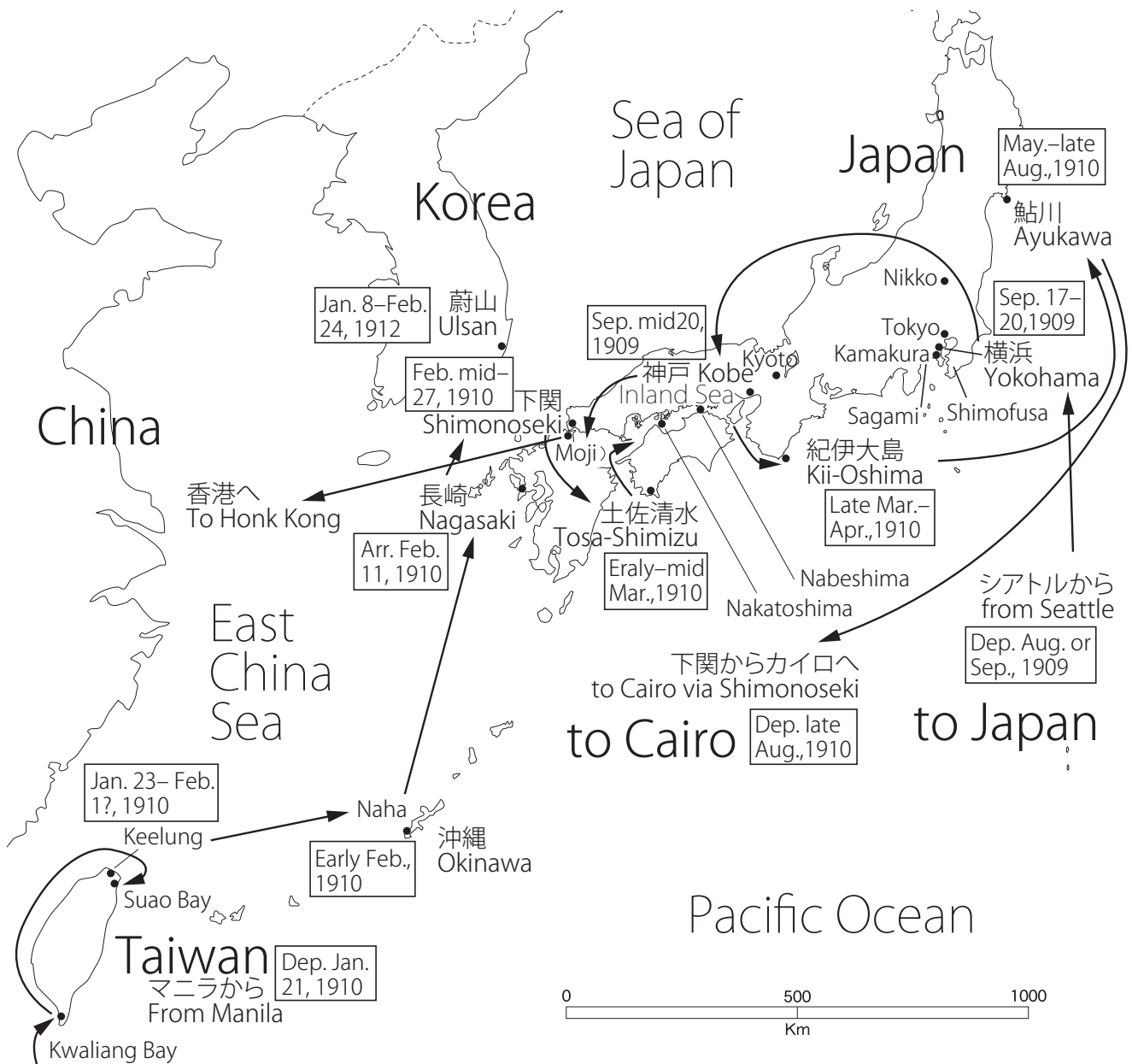
1912（明治45）年 蔚山で鯨類調査と北朝鮮探検

鮎川と紀伊大島、蔚山の調査写真、日光や横浜、京都と神戸、瀬戸内海と門司港、土佐清水、那覇、北朝鮮探検の写真、東洋捕鯨や関係者等との手紙がアメリカ自然史博物館に現存する。

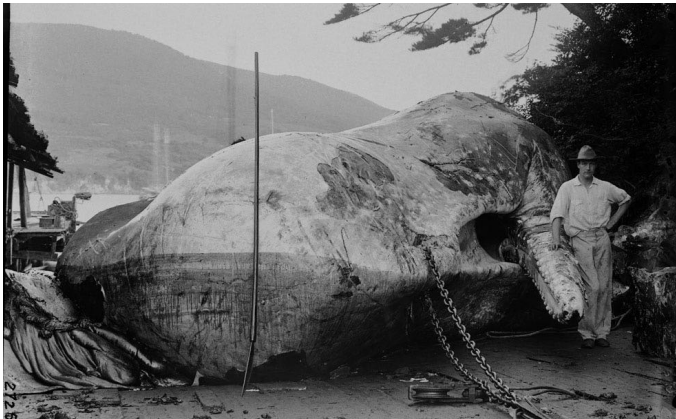
主著 "Whale Hunting with Gun and Camera"

[砲とカメラで鯨を追う]（訳本なし）

ゴビ砂漠でポーズをとるアンドリュース（1928年）



復元された 1909-1912 年のアンドリュースの日本周辺の行程（宇仁ら 2014）



1段 鮎川：ノルウェー人砲手と夫人、東洋捕鯨鮎川事業場のクジラ下顎骨の門柱（上部は肩胛骨と胸骨）

2段 鮎川：マッコウクジラ老齢オス個体とアンドリュース、引揚げ斜路に横たわるシロナガスクジラ

3段 紀伊大島：ボックで吊り上げ中のシロナガスクジラ頭骨、捕鯨砲を試射する捕鯨船第二太平丸

4段 左：東洋捕鯨蔚山捕鯨事業場の全景、東洋捕鯨清水事業場と天日干し中の鯨肉肥料（高知県土佐清水市）

1910（蔚山のみ1912）年にR.C.アンドリュース撮影（アメリカ自然史博物館蔵 American Museum of Natural History）